

時代の流れを見極め、先を見た政策を

私は町民になって9年ほどになります。東日本大震災と原発事故からの復興は先が見えず、町長をはじめ、議員、町職員の皆さんも大変だと思いますが、町の発展を願い、ひと言書かせていただきます。

ようやく役場庁舎も工事が始まり、道の駅を中心とした交流の場という明るい話題があります。一方、人口減少や藤田病院の医師不足問題などマイナス要因もあり、これからも町民と問題を共有しながら解決に努力していただきたいと思えます。



松村 彦衛
(大木戸町内会)

第5次振興計画や阿津賀志山整備構想など方向性が出ているものもありますので、時代の流れを見極めながら優先順位を付け、時代の先を見た政策が必要だと思えます。

国見町は東北の玄関口であり、交通の要所です。車の交通とともに人の交流をもっと活発にし、県外の方々も来ていただけるようになれば町の発展にもつながります。そして町外に情報をできるだけ多く発信することが今の情報化時代では求められます。

今の日本は人口構成や経済が大きな転換期にありますので、町長と議員が町民の先頭になり、言葉よりも行動で先導してほしいものです。

過去に安住することなく、議場の質問だけでなく、決断と行動で自己確認されることを期待します。

強まる絆—支援に感謝

北海道栗山町を表敬訪問

10月18日、八島議長と総務文教常任委員が北海道栗山町を表敬訪問しました。

栗山町は23年5月から4週間にわたり保健師を国見町に派遣し、大震災の支援活動として被災者の訪問健

康相談などを行いました。

八島議長が栗山町の椿原紀昭町長と鶴川和彦議長に支援の御礼と国見町の復興状況などを説明し、交流を深めました。



震災支援の表敬訪問で北海道栗山町の皆さんと(右から1人目が鶴川議長、5人目が椿原町長)

議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は
12月10日
開催予定です。

手続きは、受付簿に住所・氏名等を記入するだけで気軽に傍聴できます。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。
TEL 585-3295 (直通)

残暑の中、9月議会が始まりましたが、今では、紅葉が進み、秋も深まってきました。

9月議会では、平成24年度の一般会計の決算認定や役場新庁舎建設工事など多くの重要な議案が慎重審議によりすべて原案のとおり可決、承認、認定されました。

お忙しい中、一般質問の傍聴に来ていただいた方々には心から御礼を申し上げます。

町では、小学校、幼稚園をそれぞれ統合し、教育の充実をより図るため、新しく「国見の教育ビジョン」の策定を進めています。議会でも策定委員会の報告を確認し、また、常任委員会で中学校を訪問するなど教育の施設設備や授業の状況の把握に努めています。

今後も、教育環境や授業の充実などが図られるよう議会としても取り組めます。

(T・M)

- | | |
|--------|--------|
| 議長 | 八島 博正 |
| 副議長 | 志村 良男 |
| 編集委員長 | 浅野 富男 |
| 編集副委員長 | 松浦 常雄 |
| 編集委員 | 東海林 一樹 |
| 同 | 佐藤 定男 |